

PickUp 1

補正予算で 道路安全確保のための費用を計上

毎年、町内6地区で地区役員と町幹部が各地区の実態や問題点を共有する地区実態点検を行っている。地区実態点検での各地区からの要望等が反映された補正予算となった。

Q 土木の事業費で、

- ①道路維持管理
- ②道路用地先行取得
- ③道路改良
- ④交通安全対策

①と④は、毎年、区

から挙げられる地区実態点検の要望および住民からの通報等に対応するための工事である。

①路肩対策、防草対策、

歩行の支障となる舗装の新設、交差点未舗装部分の舗装新設、通学路の劣化カラー舗装撤去、退避場所確保のための側溝ふた設置の各1件、マンホール周りの舗装補修3件、路面補修材の購入を予定

②後退用地協力者への迅



▲地区実態点検の様子(緒川新田地区)

速な対応のための費用
③道路整備と売買物件内の物件移転補償費用
④通学路の区画線補修5件、交差点のカラー舗装補修3件、通学路の高低差対策でラバーポール設置1件を予定
いずれも道路の安全のための迅速な対応と適正な工期確保のための補正計上である。

PickUp 2

補正予算で修学旅行キャンセル料等 補助金を計上

コロナ感染拡大のため、小中学校の修学旅行を中止する場合のキャンセル料を町が負担し、保護者の経済的負担軽減と各学校が修学旅行の実施を直前まで検討できるようにするもの。

Q キャンセルする場合

の判断基準は、

A 県または旅行先で緊急事態宣言が発令されているかどうかを基準とする。9月中の修学旅行は延期することとした。

Q 実施直前までとは、

いつまでのことが、

A 補正額803万6千円は、旅行未実施8校分の児童生徒の旅行代金予定額の2分の1である。

これは出発当日にキャンセルした場合の金額で、当日の朝まで旅行の実施を検討できるようにした。

Q 延期の場合の対応お

よび延期した日程にも緊急事態宣言が発令さ



▲東浦中・北部中は本年6月に実施
(写真は東浦中 伊豆にて)

れていた場合の対応は、
A ある一定期間前で、同じコースの旅行であればキャンセル料は発生しないため、延期後に再度延期もできると確認した。修学旅行が今年度の3月末となることも想定し、どうしても行けない場合のキャンセル料を何とか持ちたいため、補正計上した。

PickUp 3

意見書案3件を可決 ※要約



意見書案1

出産育児一時金の増額を求める意見書

令和元年の出生数は過去最少となり、室料差額等を含む正常分娩の出産費用全国平均額は、令和元年度は約52万4千円となった。費用が高い都市部では、現在の出産育児一時金42万円では賄えない状況である。

子育てのスタート期に当たる出産時の経済的支援策の強化は欠かせない重要な政策であるため、国に対し、出産育児一時金の増額を強く求める。

意見書案2

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

国に対し、地方財政対策及び地方税制改正に向け、左記事項を要望する。

①令和4年度以降3年間の地方一般財源総額

は、十分な総額確保を

②固定資産税の制度の見直しは行わないこと

③固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置は、令和3年度限りに

④炭素に係る税の一部を地方に税源配分すること

意見書案3

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

山積課題に対応し、すべての子どもたちにゆきとどいた教育を行うため、少人数学級拡充を含めた定数改善計画の早期策定・実施が不可欠である。

来年度政府予算編成で、定数改善計画の早期策定・実施、義務教育費国庫負担制度の堅持及び国庫負担率2分の1への復元

にむけ、十分な教育予算の確保を強く要望する。